

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく4

国立市立国立第七小学校

平成28年4月11日 NO.3 (303)



ナノハナ(アブラナ科)



ハナダイコン(アブラナ科)

花ちゃん 「ナノハナが^{いちばん}一番です。『春』って^{はる}感じがして^{かん}一番です。」

オー君 「そうかな。ナノハナもいいけど、ぼくはハナダイコンが^す好きだな。」

(ハナダイコンについては、『国立てくてく1のNO.2を^{さんしやう}参照』)

花ちゃん 「ナノハナが^{いちばん}一番です。」

オー君 「いやいや、ハナダイコンがぼくは^す好きだ。」

モンタ博士 「あらあらどうしたの。ケンカをしてはいけないよ。どうしたの。」

花ちゃん 「だって、オー君がナノハナじゃなくて、ハナダイコンだっていうんだもん。」

オー君 「だって、花ちゃんがハナダイコンでなくて、ナノハナだっていうんだもん。」

モンタ博士 「まあまあ、みんな^{なかよ}仲良くしなくてはいけないよ。どっちもでいいんだよ。み

んなちがってみんないいのさ。そんな時にはよくお花を見てごらん。そうすれば、みんな仲良くなれるのさ。よく見てごらん。」

オー君 「あ！どっちも花びらが4枚だ。おんなじだ。」

花ちゃん 「あ！色はちがうけど、花の感じはよく似ているわ。」

モンタ博士 「ほほー。感心感心。ただ見るだけでなく、花びらの色や枚数に気づくことはすばらしい。科学的な見方というのは、そういうことなんだよ。」

花ちゃん 「似ているということは、同じ仲間ということですね。」

モンタ博士 「そのとおりだね。どっちもアブラナ科の植物だね。」

オー君 「アブラナ科って、他にどんなものがあるのですか。」

モンタ博士 「そうだね。それでは、アブラナ科の植物について考えてみよう。まず、アブラナ科の植物にはどんなものがあるかということだけど、みんながよく知っているものもたくさんあるよ。例えば、キャベツ、ダイコン、カブ、ハクサイ、ワサビ、ブロッコリー、カリフラワー、コマツナ、クレソンなどがアブラナ科なんだ。つまり、アブラナ科は、野菜として食べるものがいっぱいある植物なんだね。」

オー君 「あのう……。科っていったけど、科ってなあに。」

モンタ博士 「それはいい質問だね。植物や昆虫や動物などは、たくさんの種類があるね。それを同じ仲間に分けるのに、科というものがあるんだ。」

花ちゃん 「つまり、同じような形や性質のものに使うのですね。」

モンタ博士 「そのとおりだ。例えば、植物の場合にバラの仲間をバラ科、マメの仲間をマメ科、ユリの仲間をユリ科、アブラナの仲間をアブラナ科というんだよ。そして、アブラナ科にはそれなりの特徴があるということさ。」

オー君 「へえー。それじゃ、アブラナ科にはどんな特徴があるの。」

モンタ博士 「まず、花びらの数は4枚で、十字架のように花が十字なので、むかしはジュウジバナ科と呼ばれていたんだ。実は細長くて、その中にたくさんの種子が入っているんだよ。キャベツやハクサイ、ダイコンなど野菜の多くがアブラナ科だね。それに、クレソンやワサビなどの香辛料もアブラナ科なんだよ。」